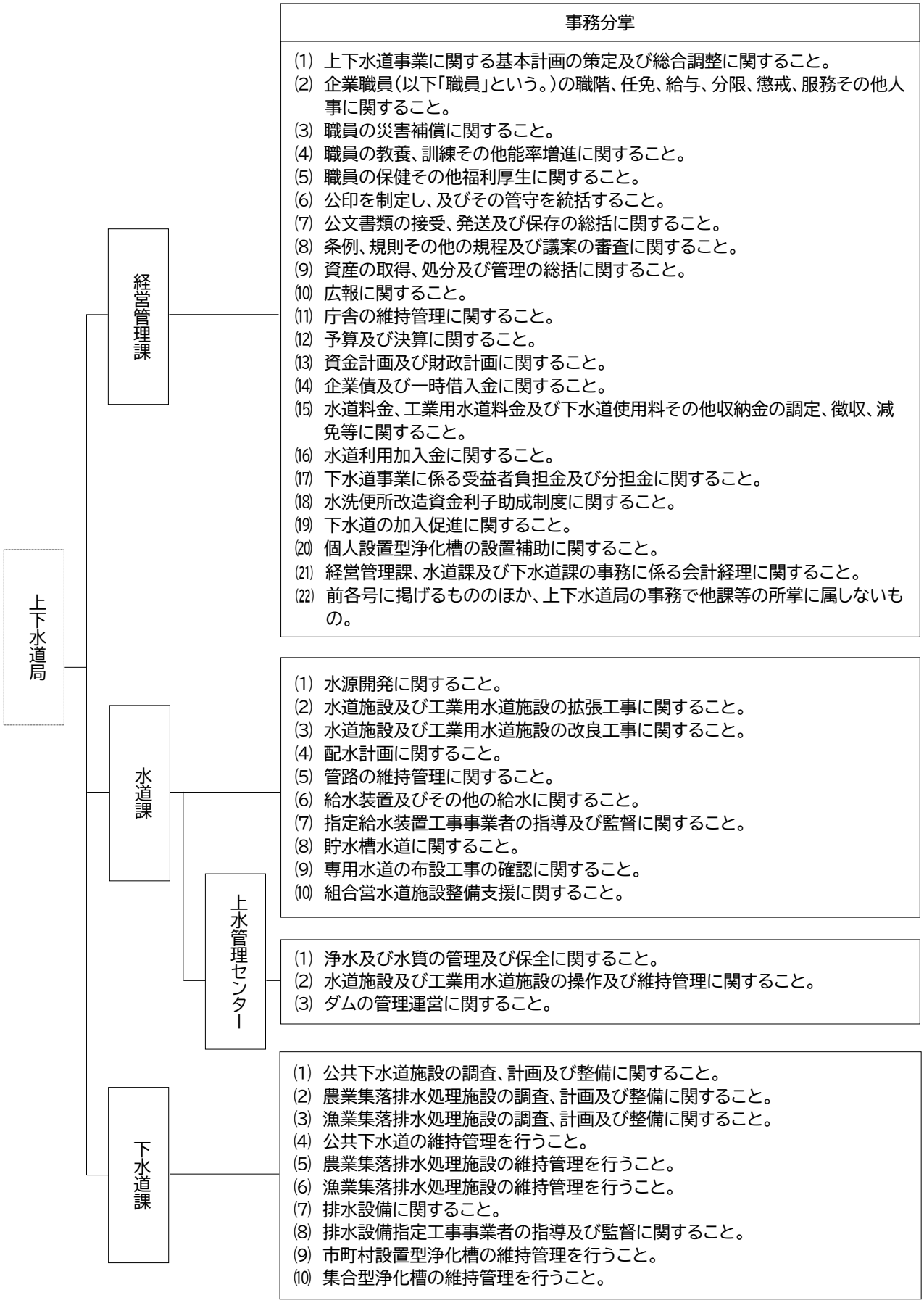
上下水道局

Ⅰ　組織と事務分掌


上下水道局
経営管理課
水道課
上水管理センター
下水道課
事務分掌
⑴ 上下水道事業に関する基本計画の策定及び総合調整に関すること。
⑵ 企業職員(以下「職員」という。)の職階、任免、給与、分限、懲戒、服務その他人事に関すること。
⑶ 職員の災害補償に関すること。
⑷ 職員の教養、訓練その他能率増進に関すること。
⑸ 職員の保健その他福利厚生に関すること。
⑹ 公印を制定し、及びその管守を統括すること。
⑺ 公文書類の接受、発送及び保存の総括に関すること。
⑻ 条例、規則その他の規程及び議案の審査に関すること。
⑼ 資産の取得、処分及び管理の総括に関すること。
⑽ 広報に関すること。
⑾ 庁舎の維持管理に関すること。
⑿ 予算及び決算に関すること。
⒀ 資金計画及び財政計画に関すること。
⒁ 企業債及び一時借入金に関すること。
⒂ 水道料金、工業用水道料金及び下水道使用料その他収納金の調定、徴収、減免等に関すること。
⒃ 水道利用加入金に関すること。
⒄ 下水道事業に係る受益者負担金及び分担金に関すること。
⒅ 水洗便所改造資金利子助成制度に関すること。
⒆ 下水道の加入促進に関すること。
⒇ 個人設置型浄化槽の設置補助に関すること。
(21) 経営管理課、水道課及び下水道課の事務に係る会計経理に関すること。
(22) 前各号に掲げるもののほか、上下水道局の事務で他課等の所掌に属しないもの。
⑴ 水源開発に関すること。
⑵ 水道施設及び工業用水道施設の拡張工事に関すること。
⑶ 水道施設及び工業用水道施設の改良工事に関すること。
⑷ 配水計画に関すること。
⑸ 管路の維持管理に関すること。
⑹ 給水装置及びその他の給水に関すること。
⑺ 指定給水装置工事事業者の指導及び監督に関すること。
⑻ 貯水槽水道に関すること。
⑼ 専用水道の布設工事の確認に関すること。
⑽ 組合営水道施設整備支援に関すること。
⑴ 浄水及び水質の管理及び保全に関すること。
⑵ 水道施設及び工業用水道施設の操作及び維持管理に関すること。
⑶ ダムの管理運営に関すること。
⑴ 公共下水道施設の調査、計画及び整備に関すること。
⑵ 農業集落排水処理施設の調査、計画及び整備に関すること。
⑶ 漁業集落排水処理施設の調査、計画及び整備に関すること。
⑷ 公共下水道の維持管理を行うこと。
⑸ 農業集落排水処理施設の維持管理を行うこと。
⑹ 漁業集落排水処理施設の維持管理を行うこと。
⑺ 排水設備に関すること。
⑻ 排水設備指定工事事業者の指導及び監督に関すること。
⑼ 市町村設置型浄化槽の維持管理を行うこと。
⑽ 集合型浄化槽の維持管理を行うこと。

Ⅱ 概況

上下水道局は経営管理課、水道課、下水道課及び上水管理センターで構成され、水道事業、工業用水道事業及び生活排水対策事業を行っています。

≪水道事業≫

「信頼で暮らしを支え未来につなぐ諫早水道」を基本理念に掲げ、「1 安全で安心できる水道」「2 いつでも使える強靭な水道」「3 いつまでも使い続けられる水道」を基本方針として、これに沿った施策目標を設定し、実現のための方策を推進します。

なお、平成27年度までは5上水道事業、15簡易水道事業の全20事業を経営していましたが、より効率的、効果的な事業運営を図っていくため、平成28年4月1日に、1上水道事業に統合しました。

施策目標

基本方針1 安全で安心できる水道

⑴ 水質管理の強化

水道水の安全性をより一層高め、安心して使用していただくために、水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を強化します。

⑵ 安全な水を供給するための施設整備

原水の水質に応じた浄水処理方法を採用し、さらに水質監視計器等の整備、更新を行って、水道水の安全性の強化に努めます。

基本方針2 いつでも使える強靭な水道

⑴ 安定水源の確保

今後も安定して取水できるよう、水道水源かん養機能の向上にも努めながら、水源の適正な管理に努めます。

⑵ 災害、事故に強い水道の構築

予測不可能な大規模地震に備え、管路の更新のほか、浄水場や配水池等の耐震化について、検討を進めます。

⑶ 危機管理体制の充実

災害時や水道施設の事故発生時において速やかに応急給水や応急復旧ができるよう、危機管理体制の充実に努めます。

基本方針3 いつまでも使い続けられる水道

⑴ 経営基盤の強化

水道利用者の満足度の高い給水サービスを提供し続けていくために、経営基盤の強化を図ります。

⑵ 顧客サービスの向上

水道利用者の視点に立った対応を心がけ、顧客サービスの向上に努めます。

⑶ 資産管理の効率化

適切で効率的な資産管理を行うことにより、少ない費用で効果的に事業を実施し、質の高い給水サービスの提供に努めます。

⑷ 技術基盤の確保

施設の適切な維持管理、更新を行っていくため、職員の技術レベルの維持・向上、知識や経験の継承に努めます。

⑸ 環境負荷軽減への取り組み

高効率・省エネ型機器を導入し、また、水資源の有効利用を図るため、漏水対策を強化します。

≪工業用水道事業≫

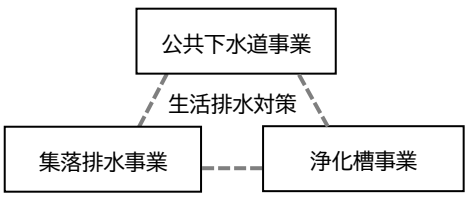
工業用水道は良質で低廉な工業用水を供給し、工業の健全な発達に寄与することを目的としています。

本市では昭和62年に中核工業団地への供給を開始して以来、増加する需要に対応するため施設の拡充を行ってきました。また、南諫早産業団地へ工業用水を供給するため、令和6年度から施設整備を進めています。今後も需要に応じた施設の拡充と適切な維持管理を行い、工業用水の安定供給に努めます。

≪生活排水対策事業≫

本市では、閉鎖性が強い諫早湾・大村湾をはじめとする公共用水域の水質保全及び生活環境改善のため、生活排水対策を重点的に進めています。

健全経営を念頭に置き、公共下水道事業・集落排水事業・浄化槽事業を効果的に組み合わせて、計画的に生活排水対策を実施していきます。



≪水道事業≫

1 水道普及率(公営)

区分＼年度	R5年度末	R6年度末	R7年度末
行政区域内人口(人)　①	131,311	130,616	130,000
給水人口(人)　②	122,925	122,637	122,358
水道普及率(%)　②／①×100	93.61	93.89	94.12

※行政区域内人口は、諫早市の推計人口を採用しています。

2 事業概要

⑴ 年度別

区分＼年度	R5年度末	R6年度末	R7年度末
計画給水人口(人)	123,000	123,000	123,000
年度末給水人口(人)	122,925	122,637	122,358
年度末給水戸数(戸)	61,424	61,645	62,303
年間給水量(㎥)	14,964,301	15,064,536	14,794,542
1日平均給水量(㎥)	40,886	41,273	40,533
1人1日平均給水量(ℓ)	333	337	331
一世帯当り1日平均給水量(ℓ)	666	670	651
年間有収水量(㎥)	13,104,098	13,174,430	12,768,835
有収率(%)	87.6	87.5	86.3

※有収率＝年間有収水量／年間給水量×100

⑵ 地域別(令和7年度)

令和8年3月31日

区分＼地域名	諫早地域	多良見地域	森山地域	飯盛地域	高来地域	小長井地域	計
計画給水人口(人)	－	－	－	－	－	－	123,000
年度末給水人口(人)	84,873	15,524	4,289	6,227	7,730	3,715	122,358
年度末給水戸数(戸)	43,406	7,689	2,182	3,205	3,879	1,942	62,303
年間給水量(㎥)	9,354,542	2,499,813	693,864	872,338	869,980	504,005	14,794,542
1日平均給水量(㎥)	25,629	6,848	1,901	2,390	2,384	1,381	40,533
1人1日平均給水量(ℓ)	302	441	443	384	308	372	331
一世帯当り1日平均給水量(ℓ)	590	891	871	746	614	711	651
年間有収水量(㎥)	9,079,968	1,519,000	437,432	596,883	748,900	386,652	12,768,835
有収率(%)	97.1	60.8	63.0	68.4	86.1	76.7	86.3

3 取水の状況

（単位：㎥／日）

水源／年度	取水量（実績）			
	地下水	表流水	湧水	計
R5年度	28,936	12,232	181	41,349
R6年度	29,708	12,232	196	42,136
R7年度	33,221	11,825	170	45,216
R7年度割合（%）	73.5	26.1	0.4	100.0

※表流水…ダム、河川など地表にある水

4 水質検査

令和8年4月1日

法定検査	毎日検査	毎月検査	年4回検査	毎年検査
検査頻度	1日1回以上	1カ月1回以上	3カ月1回以上	1年1回以上
検査項目	色、濁り、臭気、味、消毒の残留効果の5項目	水質基準全項目（52項目）のうち、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、pH値、味、臭気、色度、濁度の9項目	水質基準全項目（52項目）のうち、シアン化物イオン及び塩化シアン、ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）、塩素酸、クロロ酢酸、クロロホルム、ジクロロ酢酸、ジブロモクロロメタン、臭素酸、総トリハロメタン、トリクロロ酢酸、ブロモジクロロメタン、ブロモホルム、ホルムアルデヒドの13項目	水質基準全項目（52項目）
採水箇所数（給水栓水）	79	53	50	53

5 施設の概要

⑴ 水道施設

令和8年3月31日現在

施設区分／地域名	取水施設(水源)・導水施設	浄水施設
諫早地域	(ダム) 2カ所 小ヶ倉ダム、土師野尾ダム (地下水・湧水の数) 38カ所 天満水系12、栄田水系9、本野水系6、平山水系1、有喜地区2、小野地区2、長田地区2、本野地区2、白木峰地区1、目代地区1 (導水ポンプ等施設の数) 5カ所 天満水系1、栄田水系1、本野水系1、平山水系2	(浄水場等施設の数) 12カ所 天満水系1、栄田水系1、本野水系1、平山水系1、有喜地区2、小野地区1、長田地区1、本野地区2、白木峰地区1、目代地区1
多良見地域	(ダム) 1カ所 伊木力ダム (地下水・湧水の数) 13カ所 井樋ノ尾水系1、西川内低部水系4、西川内低部・中里混合水系1、西川内高部水系2、木床水系2、西園水系1、野副水系1、元釜伊木力地区1	(浄水場等施設の数) 10カ所 井樋ノ尾水系1、西川内低部水系4、西川内低部・中里混合水系1、西川内高部水系1、木床及び元釜伊木力水系1、西園水系1、野副水系1
森山地域	(地下水・湧水の数) 6カ所 長走水系3、唐比水系1、上名水系1、寺林水系1	(浄水場等施設の数) 5カ所 長走水系2、唐比水系1、上名水系1、寺林水系1
飯盛地域	(地下水・湧水の数) 11カ所 経塚水系3、牧野水系1、香田水系1、山開水系2、田結水系1、赤穂の坂水系1、川下水系1、古場水系1	(浄水場等施設の数) 10カ所 経塚水系3、牧野水系1、香田水系1、山開水系1、赤穂の坂水系1、川下水系1、古場水系1、田結水系1
高来地域	(地下水・湧水の数) 14カ所 小峰水系1、法川水系1、神津倉水系3、東平原水系2、深海小江下地区4、深海上地区1、小江上地区1、黒新田地区1	(浄水場等施設の数) 10カ所 小峰水系1、法川水系1、神津倉水系2、東平原水系1、深海小江下地区2、深海上地区1、小江上地区1、黒新田地区1
小長井地域	(ダム) 1カ所 船津ダム (地下水・湧水の数) 8カ所 小川原浦地区3、遠竹地区1、田原地区2、長里地区2 (導水ポンプ等施設の数) 1カ所 田原地区1	(浄水場等施設の数)8カ所 小川原浦地区3、遠竹地区1、田原地区2、長里地区2
計	100カ所	55カ所

施設区分／地域名	送水施設	配水施設
諫早地域	(送水ポンプ等施設の数) 7カ所 天満水系1、栄田水系1、本野水系1、平山水系3、本野地区1	(配水池等施設の数) 63カ所 天満水系10、栄田水系5、本野水系6、平山水系11、有喜地区5、小野地区3、長田地区6、本野地区10、白木峰地区4、目代地区3
多良見地域	(送水ポンプ等施設の数) 5カ所 井樋ノ尾水系1、西川内高部水系1、木床水系1、木床及び元釜伊木力水系1、西園水系1	(配水池等施設の数) 31カ所 井樋ノ尾水系2、西川内低部水系1、西川内低部・中里混合水系1、西川内高部水系4、木床水系5、西園水系1、野副水系1、元釜伊木力地区16
森山地域	(送水ポンプ等施設の数) 4カ所 長走水系2、唐比水系1、上名水系1	(配水池等施設の数) 7カ所 長走水系2、唐比水系3、上名水系1、寺林水系1
飯盛地域	(送水ポンプ等施設の数) 2カ所 田結水系1、古場水系1	(配水池等施設の数) 20カ所 経塚水系7、牧野水系4、香田水系2、山開水系1、田結水系3、赤穂の坂水系1、川下水系1、古場水系1
高来地域	(送水ポンプ等施設の数) 5カ所 小峰水系1、神津倉水系2、深海小江下地区2	(配水池等施設の数) 19カ所 小峰水系1、法川水系1、神津倉水系1、東平原水系3、深海小江下地区4、深海上地区3、小江上地区2、黒新田地区4
小長井地域	(送水ポンプ等施設の数) 8カ所 小川原浦地区3、遠竹地区1、田原地区2、長里地区2	(配水池等施設の数) 23カ所 小川原浦地区7、遠竹地区4、田原地区8、長里地区4
計	31カ所	163カ所

⑵ 水道管　　令和8年3月31日現在

管区分＼地域名		諫早地域	多良見地域	森山地域	飯盛地域	高来地域	小長井地域	計
管路延長	導水管(m)	39,739.6	4,316.0	5,453.6	5,244.4	5,503.0	2,424.0	62,680.6
	送水管(m)	44,651.9	27,082.2	4,901.8	14,405.6	6,168.4	9,602.1	106,812.0
	配水管(m)	459,168.6	127,791.7	49,503.5	71,914.3	83,316.1	70,886.0	862,580.2
	計(m)	543,560.1	159,189.9	59,858.9	91,564.3	94,987.5	82,912.1	1,032,072.8

6 経営の状況

⑴ 収益的収支の推移(税抜き)　　(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
収益的収入	2,823,448,943	2,907,850,716	2,813,477,005
うち水道料金	2,443,208,547	2,465,007,354	2,358,775,664
収益的支出 減価償却費、維持管理費など	2,519,081,975	2,675,112,073	2,694,109,290
純利益	304,366,968	232,738,643	119,367,715

⑵ 資本的収支の推移(税込み)　　(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
資本的収入 企業債、補助金など	537,270,643	494,665,173	516,656,500
資本的支出 企業債償還金、工事費など	1,946,978,468	2,092,353,512	2,594,662,098
収支不足額	1,409,707,825	1,597,688,339	2,078,005,598

収支不足額は、損益勘定留保資金などで補てんしています。

⑶ 企業債　　(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
企業債償還金	423,575,634	377,724,898	365,728,627
企業債残高	6,724,763,534	6,485,138,636	6,233,710,009

⑷ 供給単価及び給水原価(1㎥当り)　　(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
供給単価	186.45	187.11	184.73
給水原価	176.67	186.27	191.83
差　額	9.78	0.84	△7.10

≪工業用水道事業≫

1 事業概要

区分＼年度		R5年度末	R6年度末	R7年度末
給水事業所数		6	6	6
計画給水量(㎥/日)		21,000	22,500	22,500
給水能力(㎥/日)		16,000	21,000	21,000
契約水量(㎥/日)		15,000	15,000	16,000
一日平均給水量(㎥/日)		15,284	15,390	16,208
年間給水量(㎥)		5,563,330	5,648,250	5,915,822
年間有収水量(㎥)	計量分	5,563,330	5,648,250	5,915,822
	料金算定分	5,683,161	5,833,332	6,106,436

2 水質検査

区分＼頻度	1日1回以上	1カ月1回以上
検査項目	水温、濁度、水素イオン濃度	アルカリ度、硬度、蒸発残留物、塩素イオン、鉄イオン
採水箇所数	4	1

3 施設の概要

事業創設年月日	昭和58年4月1日
給水区域	津久葉町、平山町、栗面町及び小ヶ倉町の各一部
建設期間	昭和58年4月1日～昭和62年3月31日 平成12年4月1日～平成17年3月31日 平成30年11月1日～令和2年5月31日 令和2年4月1日～令和7年3月31日
給水開始年月日	昭和62年4月1日(一部給水 昭和61年5月1日)
取水施設	地下水29カ所、湧水1カ所
導水施設	導水管 延長 25,341m
送水施設	小野島送水ポンプ場(RC 造り平屋建240㎡ 地下受水槽容量250㎥) 福田送水ポンプ場(RC 造り地上二階地下一階381㎡ 受水槽容量400㎥) 本明送水ポンプ場(RC 造り平屋建162㎡ 受水槽容量130㎥) 栗面中継ポンプ場(RC 造り地上二階地下一階242㎡ 受水槽容量458㎥) 送水管 延長 24,211m
配水施設	配水池 3カ所(PC 造り 容量9,500 ㎥)
	配水管 延長2,642m

4 経営の状況

⑴ 収益的収支の推移(税抜き)

(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
収益的収入	441,149,527	441,888,881	468,312,259
うち工業用水道料金	268,538,346	277,274,740	286,779,107
収益的支出 減価償却費、維持管理費など	307,616,618	335,892,677	378,656,730
純利益	133,532,909	105,996,204	89,655,529

純利益は、企業債の償還に充てるために、全額を減債積立金に積み立てています。

⑵ 資本的収支の推移(税込み)

(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
資本的収入 企業債、補助金など	1,606,567,000	442,214,000	116,261,900
資本的支出 企業債償還金、工事費など	1,753,263,924	852,557,007	291,611,983
収支不足額	146,696,924	410,343,007	175,350,083

収支不足額は、損益勘定留保資金などで補てんしています。

⑶ 企業債

(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
企業債償還金	93,260,418	94,819,879	96,406,429
企業債残高	1,248,168,259	1,342,848,380	1,264,641,951

⑷ 供給単価及び給水原価(1㎥当り)

(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
供給単価	47.25	47.53	46.96
給水原価	38.76	44.42	47.61
差　　額	8.49	3.11	△0.65

≪生活排水対策事業≫

1 生活排水処理人口普及率

区分＼年度		R5年度末	R6年度末	R7年度末
行政人口(人)※		133,670	133,034	132,396
公共下水道	処理可能人口(人)	91,034	91,569	92,166
	普及率(%)	68.10	68.83	69.61
	水洗化人口(人)	78,561	79,924	81,067
	処理率(%)	58.77	60.08	61.23
集落排水	処理可能人口(人)	14,964	14,864	14,922
	普及率(%)	11.19	11.17	11.27
	水洗化人口(人)	13,270	13,283	13,409
	処理率(%)	9.93	9.98	10.13
浄化槽	処理可能人口(人)	18,287	18,060	17,204
	普及率(%)	13.68	13.58	12.99
	水洗化人口(人)	21,442	21,208	20,947
	処理率(%)	16.04	15.94	15.82
合計	処理可能人口(人)	124,285	124,493	124,292
	普及率(%)	92.98	93.58	93.88
	水洗化人口(人)	113,273	114,415	115,423
	処理率(%)	84.74	86.00	87.18

※行政人口は、諫早市住民基本台帳人口を採用しています。

2 施設の概要

⑴ 公共下水道事業(供用開始分)　　令和8年3月31日現在

処理区	処理施設の名称	処理方式	供用開始年月	処理可能人口(人)	水洗化人口(人)
諫早湾	諫早中央浄化センター	凝集剤併用型循環式硝化脱窒法＋急速ろ過	平成6年10月	39,391	34,040
小長井	小長井浄化センター	オキシデーションディッチ法	平成15年3月	2,609	1,925
高　来	高来浄化センター	オキシデーションディッチ法	平成16年3月	6,314	5,157
田　結	田結浄化センター	オキシデーションディッチ法	平成20年3月	1,134	809
飯　盛	飯盛浄化センター	オキシデーションディッチ法	平成26年3月	2,186	1,568
大村湾	大村湾南部浄化センター	標準活性汚泥法・ステップ流入式多段硝化脱窒法	平成12年3月	40,532	37,568
合　計				92,166	81,067

⑵ 集落排水事業(供用開始分)　　令和8年3月31日現在

地区	処理施設の名称	処理方式	供用開始年月	処理可能人口（人）	水洗化人口（人）
小　ヶ　倉	小ヶ倉クリーンハウス	連続流入間欠ばっ気法	平成6年5月	110	110
長　　田	長田クリーンハウス	回分式活性汚泥法	平成9年8月	1,217	1,215
赤崎・黒崎	赤崎・黒崎クリーンハウス	回分式活性汚泥法	平成12年5月	797	797
本明・目代	本明・目代クリーンハウス	回分式活性汚泥法	平成13年7月	1,155	1,099
長田東部	長田東部クリーンハウス	回分式活性汚泥法	平成14年7月	1,067	974
本　　野	（公共下水道接続） 諫早中央浄化センター	凝集剤併用型循環式硝化脱窒法+急速ろ過	平成19年3月	1,254	1,049
小野島・川内・宗方	（公共下水道接続） 諫早中央浄化センター	凝集剤併用型循環式硝化脱窒法+急速ろ過	平成21年3月	1,450	1,351
伊木力・元釜	伊木力・元釜地区浄化センター	連続流入間欠ばっ気法	平成23年3月	1,030	749
大　　草	（公共下水道接続） 大村湾南部浄化センター	標準活性汚泥法・ステップ流入式多段硝化脱窒法	令和3年3月	497	409
唐　　比	唐比アクアリフレッシュセンター	回分式活性汚泥法	平成9年4月	488	409
上　　名	上名アクアリフレッシュセンター	回分式活性汚泥法	平成9年4月	426	406
下名・慶師野	下名・慶師野アクアリフレッシュセンター	回分式活性汚泥法	平成9年12月	755	725
本村・万灯	本村・万灯アクアリフレッシュセンター	回分式活性汚泥法	平成11年3月	847	746
田尻・杉谷	田尻・杉谷アクアリフレッシュセンター	回分式活性汚泥法	平成10年4月	1,252	1,187
山　　口	山口地区浄化センター	流量調整嫌気性ろ床+接触ばっ気法	平成14年7月	375	375
古　　場	古場地区浄化センター	連続流入間欠ばっ気法	平成19年3月	211	183
遠　　竹	遠竹地区浄化センター	連続流入間欠ばっ気法	平成19年3月	338	275
田　　原	（公共下水道接続）小長井浄化センター	オキシデーションディッチ法	平成20年3月	603	538
有喜・松里	有喜・松里地区浄化センター	長時間ばっ気法	平成28年3月	1,050	812
合　　計				14,922	13,409

3 整備の状況

⑴ 諫早市生活排水処理施設整備状況

令和8年3月31日現在

区分					事業計画	進捗状況		供用開始状況				水洗化状況			
地域	流域	流域別行政人口 (A) (人)	施設	処理区 (地区)	面積 (B) (ha)	整備済面積 (C) (ha)	整備率 (対事業計画) C/B (%)	面積 (D) (ha)	処理可能人口 (E) (人)	処理可能世帯数 (F) (世帯)	普及率 E/A (%)	水洗化人口 (G) (人)	水洗化率 (対供用開始) G/E (%)	水洗化世帯 (H) (世帯)	接続率 (対供用開始) H/F (%)
諫早	諫早湾	56,705	公共	諫早湾	1032.0	795.4	77.07	781.6	39,391	19,663	69.47	34,040	86.42	17,097	86.95
			集排	小ヶ倉	6.0	6.0	100.00	6.0	110	50	12.43	110	100.0	50	100.00
				長　田	38.1	38.1	100.00	38.1	1,217	580		1,215	99.84	579	99.83
				赤崎･黒崎	42.7	42.7	100.00	42.7	797	372		797	100.0	372	100.0
				本明･目代	49.4	49.4	100.00	49.4	1,155	561		1,099	95.15	533	95.01
				長田東部	34.0	34.0	100.00	34.0	1,067	465		974	91.28	424	91.18
				本　野	47.4	47.4	100.00	47.4	1,254	598		1,049	83.65	493	82.44
				小野島･川内･宗方	62.2	62.2	100.00	62.2	1,450	670		1,351	93.17	624	93.13
			浄化槽						7,171	3,377	12.65	8,416		3,990	
	大村湾	30,682	公共	大村湾	1,059.7	831.6	78.48	746.4	28,098	13,206	91.58	25,545	90.91	12,011	90.95
			浄化槽						2,580	1,251	8.41	4,404		2,137	
	橘湾	3,643	集排	有喜･松里	49.0	49.0	100.00	49.0	1,050	608	28.82	812	77.33	476	78.29
			浄化槽						1,518	762	41.67	1,518		762	
	計								86,858	42,163	95.42	81,330		39,548	
多良見	大村湾	16,113	公共	大村湾	353.2	328.2	92.92	318.2	12,434	5,788	77.17	12,023	96.69	5,608	96.89
			集排	伊木力･元釜	50.5	50.5	100.00	50.5	1,030	478	9.48	749	72.72	336	70.29
				大　草	9.2	9.2	100.00	9.2	497	234		409	82.29	192	82.05
			浄化槽						1,020	475	6.33	1,100		506	
	計								14,981	6,975	92.97	14,281		6,642	
森山	諫早湾	4,107	集排	上　名	14.1	14.1	100.00	14.1	426	197	79.86	406	95.31	187	94.92
				下名･慶師野	38.0	38.0	100.00	38.0	755	334		725	96.03	321	96.11
				本村･万灯	37.4	37.4	100.00	37.4	847	378		746	88.08	333	88.10
				田尻･杉谷	42.2	42.2	100.00	42.2	1,252	579		1,187	94.81	548	94.65
			浄化槽						520	243	12.66	520		243	
	橘湾	661	集排	唐　比	22.3	22.3	100.00	22.3	488	241	73.83	409	83.81	202	83.82
			浄化槽						62	34	9.38	62		34	
	計								4,350	2,006	91.23	4,055		1,868	
飯盛	橘湾	6,902	公共	田　結	68.0	66.3	97.50	66.3	1,134	529	16.43	809	71.34	380	71.83
				飯　盛	107.0	60.8	56.82	60.8	2,186	1,011	31.67	1,568	71.73	730	72.21
			集排	山　口	16.6	16.6	100.00	16.6	375	155	8.49	375	100.00	155	100.00
				古　場	10.1	10.1	100.00	10.1	211	100		183	86.73	87	87.00
			浄化槽						2,248	951	32.57	2,435		1,038	
	計								6,154	2,746	89.16	5,370		2,390	
高来	諫早湾	9,095	公共	高　来	291.0	267.2	91.82	266.4	6,314	2,839	69.42	5,157	81.68	2,321	81.75
			浄化槽						1,427	642	15.69	1,809		867	
	計								7,741	3,481	85.11	6,966		3,188	
小長井	諫早湾	4,488	公共	小長井	166.0	161.6	97.35	161.6	2,609	1,325	58.13	1,925	73.78	973	73.43
			集排	田　原	21.7	21.7	100.00	21.7	603	307	20.97	538	89.22	275	89.58
				遠　竹	15.8	15.8	100.00	15.8	338	149		275	81.36	121	81.21
			浄化槽						658	478	14.66	683		491	
	計								4,208	2,259	93.76	3,421		1,860	
合計									124,292	59,630	93.88	115,423		55,496	

※公共下水道の供用開始区域内における浄化槽人口は、公共下水道の処理可能人口として数えています。

※集排（集落排水）のうち、有喜・松里地区は漁業集落排水、その他の地区は農業集落排水です。

⑵ 地域別 生活排水処理施設整備状況　　令和8年3月31日現在

区分＼地域	諫早	多良見	森山	飯盛	高来	小長井	計
行政人口（人）	91,030	16,113	4,768	6,902	9,095	4,488	132,396
処理可能人口(人)	86,858	14,981	4,350	6,154	7,741	4,208	124,292
水洗化人口(人)	81,330	14,281	4,055	5,370	6,966	3,421	115,423
普及率（％）	95.42	92.97	91.23	89.16	85.11	93.76	93.88
処理率（％）	89.34	88.63	85.05	77.80	76.59	76.23	87.18

※処理率＝水洗化人口／行政人口×100

⑶ 流域別 生活排水処理施設整備状況　　令和8年3月31日現在

区分＼処理区	諫早湾	大村湾	橘湾	計
行政人口（人）	74,395	46,795	11,206	132,396
処理可能人口(人)	69,361	45,659	9,272	124,292
水洗化人口(人)	63,022	44,230	8,171	115,423
普及率（％）	93.23	97.57	82.74	93.88
処理率（％）	84.71	94.52	72.92	87.18

※処理率＝水洗化人口／行政人口×100

4 経営の状況

⑴ 収益的収支(税抜き)　　(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
収益的収入	5,153,187,515	5,275,841,587	5,135,876,954
うち下水道使用料	2,616,850,340	2,718,899,381	2,675,987,184
収益的支出 減価償却費、維持管理費など	4,314,376,403	4,401,975,548	4,450,430,488
純利益	838,811,112	873,866,039	685,446,466

純利益は、企業債の償還に充てるために、全額を減債積立金に積み立てています。

⑵ 資本的収支(税込み)　　(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
資本的収入 補助金、負担金など	2,875,667,600	3,370,191,834	2,763,648,722
資本的支出 企業債償還金、工事費など	4,890,689,724	5,453,320,763	4,751,807,010
収支不足額	2,015,022,124	2,083,128,929	1,988,158,288

収支不足額は、損益勘定留保資金などで補てんしています。

⑶ 企業債　　(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
企業債償還金	2,164,311,825	2,155,628,599	2,010,037,046
企業債残高	27,692,972,783	27,260,244,184	26,644,607,138

⑷ 使用料単価及び汚水処理原価(1㎥当り)　　(単位:円)

区分＼年度	R5年度	R6年度	R7年度
使用料単価	173.09	174.29	173.09
汚水処理原価 ※使用料対象原価	126.24	126.74	138.28
差額	46.85	47.55	34.81